

投資者の皆さまへ

2025年10月17日



商 号 SBIアセットマネジメント株式会社
 金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第 311 号
 加 入 協 会 一般社団法人投資信託協会
 一般社団法人日本投資顧問業協会

SBI オルタナティブ・ハインカム・セレクト・ファンド(年 4 回決算型)
直近の米国クレジット市場について

平素は弊社ファンドをご愛顧いただき、誠にありがとうございます。

SBIオルタナティブ・ハインカム・セレクト・ファンド(年4回決算型)(以下「当ファンド」)は、プライベート・クレジットを中心とするバンクローン等、並びに米国及び欧州のクレジット市場に投資を行っています。

昨日16日のニューヨーク株式市場で、銀行株が売られました。特に、S&P500種株価指数の業種別で銀行の下落率は2.8%となりました。これは昨晚のニュースとして、大手地銀2行が、不正の疑いがある融資の問題を明らかにしたことが要因と考えられます。先月、米国で破綻した2社(米サブプライム自動車ローン会社 トライカラー、米修理・交換用部品メーカー ファースト・ブランズ・グループ)の債務の実態が分かりづらく、影響度合いを把握しきれない状況もあって、銀行業界への不安が高まっていることが背景となっています。

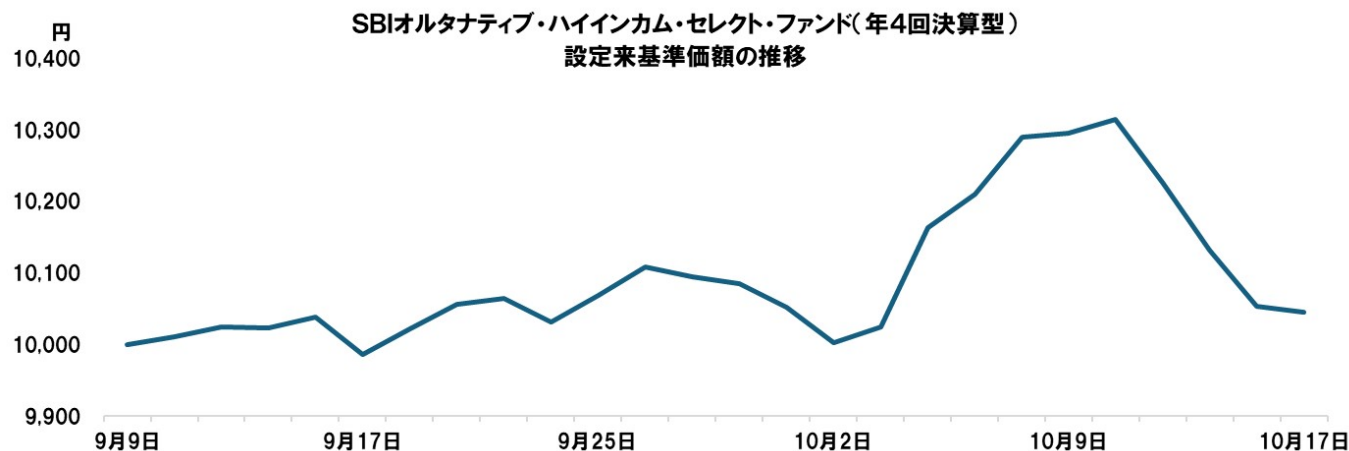
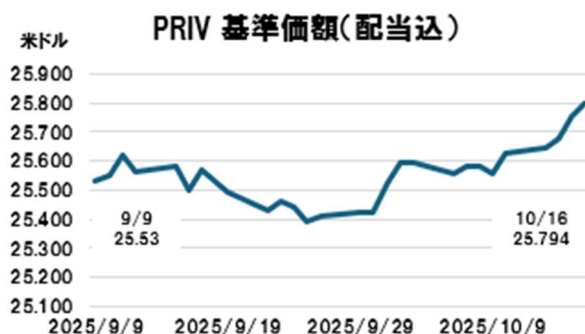
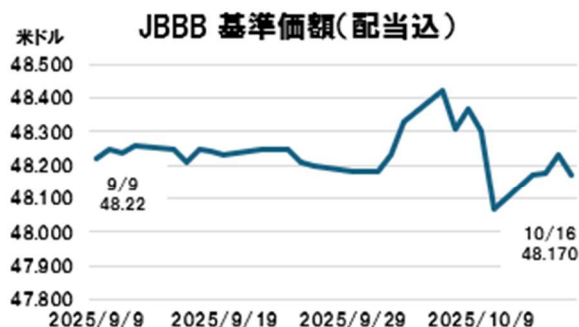
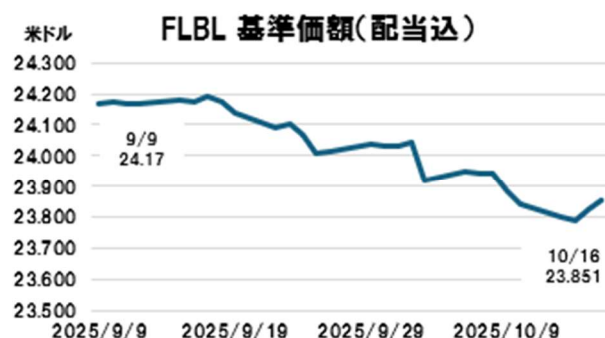
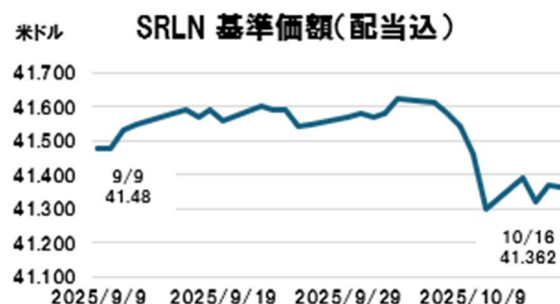
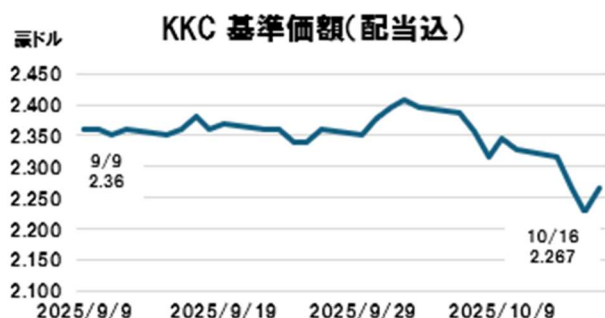
米国クレジット市場では、その影響から不安感が広まり、一部プライベート・クレジット運用会社の株価も下落いたしました。

《当ファンドが投資しております、5つの上場投資信託・ETFの設定来の騰落率》

	商品名		設定来騰落率 (9月10日～10月16日)	昨日(10/16)の前日比 騰落率
①	KKR CREDIT INCOME FUND	KKC	-3.9%	1.80%
②	SPDR Blackstone Senior Loan ETF	SRLN	-0.3%	-0.02%
③	FRANKLIN Senior Loan ETF	FLBL	-1.4%	0.10%
④	JANUS HENDERSON B-BBB CLO ETF	JBBB	-0.1%	-0.12%
⑤	SPDR SSGA IG Public & Private Credit ETF	PRIV	1.0%	0.16%

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

《当ファンドが投資しております、5つの上場投資信託・ETFおよび当ファンドの設定来の値動き》



○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様に帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

《投資対象ファンドの運用会社のコメント》

当ファンドが投資しております、上場投資信託（KKR クレジット・インカム・ファンド、ブラックストーン・シニアローンETF）の運用会社である、KKR社、ブラックストーン社から、先月破綻した上記2社の影響、及び投資ポートフォリオの状況についてのコメントを以下に紹介します。

＜KKR社＞

『米国で先月、破綻した2社については、クレジット市場全般に共通する事象ではなく、個別的な特殊な状況と捉えております。KKRは、厳選された投資アプローチを維持し、最高水準を満たしていると考ええる事業にのみ融資を行っています。資産の理解と報告の一貫性を確保するために、担保プールの審査を厳密に行っております。』

＜ブラックストーン社＞

『先月の2社の事象は、あくまで個別的かつ特異的な事象であり、クレジット市場全体に起きている事象ではないと捉えています。当社のクレジット投資においては、投資対象の厳選、厳密なポートフォリオのリスク管理を行っており、影響があるものではございません。』

上記2社のコメントにもありますが、米国で破綻した2社の事象は個別的なものと捉えておりますが、弊社は各投資信託の資産の状況について、引き続き、注視してまいります。

以上

投資信託にかかるリスク

本ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。また、外貨建資産には為替リスクもあります。したがって、投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割込むことがあります。信託財産に生じた利益及び損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。

また、投資信託は預貯金と異なります。本ファンドの基準価額の主な変動要因や留意点としては以下のものがありますが、以下に限定されるものではありません。詳しくは各ファンドの投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご確認ください。

※投資信託はリスクを含む商品であり、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証はありません。

主な変動要因

- バンクローンに関するリスク ● CLO(ローン担保証券)に関するリスク ● ダイレクトレンディング(ローン)に関するリスク
- ハイイールド社債に関するリスク ● ハイブリッド債に関するリスク ● レバレッジに関するリスク ● 金利変動に関するリスク
- 流動性リスク ● 為替変動リスク ● 信用リスク ● カントリーリスク

その他の留意点

- ・ 本ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定(いわゆるクーリング・オフ)の適用はありません。
- ・ 本ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待される価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金の申込みの受付が中止となる可能性、換金代金のお支払いが遅延する可能性があります。
- ・ 有価証券の貸付取引を行う場合は、取引先リスク(取引の相手方(レンディング・エージェントを含みます。))の倒産等により契約が不履行になることが生じる可能性があります。
- ・ 投資信託は預金や保険契約と異なり、預金保険機構、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。
- ・ 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は投資者保護基金の支払対象ではありません。
- ・ 収益分配金の水準は、必ずしも計算期間における本ファンドの収益の水準を示すものではありません。収益分配は、計算期間に生じた収益を超えて行われる場合があります。
- ・ 投資者の購入価額によっては、収益分配金の一部または全部が、実質的な元本の一部払戻しに相当する場合があります。
- ・ 収益分配金の支払いは、信託財産から行われます。したがって純資産総額の減少、基準価額の下落要因となります。
- ・ 本ファンドは、ファミリーファンド方式で運用を行います。当該運用方式には運用の効率性等の利点がありますが、投資対象とするマザーファンドにおいて、他のベビーファンドの資金変動等に伴う売買等が生じ、マザーファンドの組入れETF(上場投資信託証券)に売買等が生じた場合等には、本ファンドの基準価額は影響を受けることがあります。

お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。

お客様に直接・間接にご負担いただく費用等

(お買付時に直接ご負担いただく費用)

- お買付手数料: 購入価額に3.3%(税抜3.0%)を上限として、販売会社が独自に定める率を乗じて得た額とします。
※詳細は販売会社にお問い合わせください。

(途中解約時に直接ご負担いただく費用)

- 信託財産留保額: ありません

(保有期間中にファンドが負担する費用(間接的にご負担いただく費用))

- 信託報酬(2025年7月30日現在): 年1.5204%程度※ (年1.2904%~年1.9404%程度)
※有価証券届出書提出時点で想定する投資配分を基に試算したもの
※本ファンドにおいて成功報酬制はありません。

● その他の費用

ファンドの監査費用、有価証券等の売買委託手数料、保管費用等本ファンドの投資に関する費用、信託財産に関する租税、信託事務の処理等に要する諸費用(法律顧問・税務顧問等への報酬を含む)、開示書類等の作成費用等(有価証券届出書、目論見書、有価証券報告書、運用報告書等の作成・印刷費用等)が信託財産から差引かれます。

*これらの費用は監査費用を除き運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを示すことができません。

投資信託ご購入の注意

- 投資信託をご購入の際は、必ず投資信託説明書(交付目論見書)をあらかじめ又は同時にお受取りになり、内容をご確認ください。
- 投資信託は値動きのあるものであり、元本保証、利回り保証、及び一定の運用成果の保証をするものではありません。したがって、運用実績によっては元本割れする可能性があります。
- 投資信託の基準価額の下落により損失を被るリスクは、投資信託をご購入のお客様が負うこととなります。
- 投資信託は預金ではなく、預金保険の対象ではありません。
- 銀行など登録金融機関でご購入いただく投資信託は、投資者保護基金の支払対象ではありません。

○本資料は、SBIアセットマネジメント株式会社が信頼できると判断したデータに基づき作成されておりますが、その正確性、完全性について保証するものではありません。また、将来予告なく変更されることがあります。○本資料中のグラフ、数値等は過去のものであり、将来の傾向、数値等を予測するものではありません。○投資信託は値動きのある証券に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本保証はありません。○投資信託の運用による損益はすべて受益者の皆様へ帰属します。○お申込みの際には必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認の上、お客様自身でご判断ください。